

三原市民と市長の「みらいトーク」(第34回)実施結果

日 時 令和6年3月28日(木) 18時00分から19時30分

場 所 広島空港 2階 団体待合室「しまなみ」

テーマ 空港周辺エリアを目的地として来訪してもらうための連携について など

参加者 空港周辺事業者(6名)

内 容 市長が質問し、参加者と意見交換

1 テーマにおける参加者との意見交換の概要

【市長から】

- ・今後予定していることや構想などについてご紹介いただきたい

【参加者から】

- ・2023年度の空港利用者(見込み)は9割方戻ってきており、2024年度については、コロナ前を超える見通し。予約可能な立体駐車場が完成し、来年度はレンタカーステーションを整備して集約する。コロナ禍を踏まえ、レンタカーを利用する方の割合が多くなっている。空港は広島県の中心、瀬戸内・山陰エリアの中心に位置しており、目的地に行ってもらいやすくなる構えにしようと考えている。ターミナル自体の改装を東側から順次進めており、来てもらえるような仕組み作りを周辺事業者の皆様と一緒に考えていきたい。
- ・周辺にインバウンド向けのマップとサイネージも設置し始めた。インバウンド目線ではハード、ソフト面で、まだまだ足りていないと考えている。食、宿泊、遊び、増えてきたコンテンツをどう繋いでいくか。まだまだ連携できていない部分が多くあると思っており、それを繋ぎ、特に三原市に少ない宿泊者の増加に向けて、こちらで構えてご案内できる方向性に持っていきたいと考えている。
- ・インバウンドは2015年から増え、コロナで減り、戻りつつある。コンテンツ的には、広島市内には勝てないが、おもてなしの部分を大切にしており、その一つに、お見送りの時には、台湾と日本の国旗を振っている。非常に喜んでいただいております、そういった部分で選んでもらえている部分もあると考えていて、是非、市役所の皆様も参加いただいて、体感してもらいたい。
- ・中国文化に陰陽があるが、これに関連した地域は、日本では、山陽と山陰だけ、こういうのを何か繋いで、インバウンドにアピールすることも一つかと。来る方も日本の文化を学ばれると思うが、我々も来てもらうために海外の文化・歴史を学び、キャッチーな名前をつけるなど、必要だと思う。東広島DMO、竹原DMOとも今後、連携していく予定で、面で繋がった対応ができる。
- ・チャイナエアラインが日中の便がなくなり、夜到着、朝出発となったため、三景園を紹介できなくなった。6月と11月に開催されている紅葉祭りの時期だけでも、三景園を

コースに組み込めればと考えており、今後、相談させていただきたい。

- ・三景園については、コロナ前と比較すると団体客は減少しており、空・道・港様と連携し、利用促進を図っていききたいと考えている。アメリカの日本庭園専門誌で国内ランキングが R4 の 13 位から R5 は 10 位となった。外国の方からは評価いただいている。それを売りにしていきたい。

誰がどういう所が好きでなど、どういう構えが必要かを皆さんと情報共有しながら進めていきたい。出来る出来ないは別として、アイデアが膨らむことは良いことだと思っている。出来る範囲で対応していく考えは持っており、アイデアはどんどん言っていたきたい。

- ・4月28日に「りんくうストレージ」オープンイベント（バンド、DJ、子供スケボー教室など）を開催する。

一番のメインはスケートボードパーク、子供が遊べる程度のボルダリングもある。

キャンプ、サウナも出来る。手ぶらでバーベキューができるなど、気軽に来てもらえる仕組みも考えている。スケートボードは、今後、大会の開催も考えている。子供向け教室の開催も予定している。家族でキャンプしながら、スケボーの体験もできる。SNSで積極的に発信していきたい。

- ・8月でマイ・フロープラント1周年となるので、このときには、イベントを開催したい。小学校や幼稚園を対象に、食・健康をテーマとした工場見学の実施などにも取り組んでいきたいと考えている。社内でどういったにぎわいづくりができるか模索している。5月にホテルレストランでビュッフェフェアがあり、コラボも企画している。

- ・マイ・フロープラントのオープン式典に行かせていただいて、ガントシャワー（噴水）が腸の長さを表していることに学びと感動があった。今までバラバラで実施していたことを、広島空港周辺事業推進協議会の中でも話す機会が出来てきており、もっと連携させていきたいと考えている。

- ・空港周辺のそれぞれの施設にはバーベキュー施設がある。中央森林公園はワイルド感があり、上品な形は、ホテルや八天堂様、このエリアで楽しめるバーベキュー、こんなスタイルがありますなどを発信していくこともおもしろいと思う。

- ・色んな良いものを作っても知らない人が多い、知ってもらうことから始めないといけない。知らないということは、やりようによっては知るはずなので、やり方なのだと思う。どうせやるなら、点では無く、みんなでセットでやらないと届かないと思う。

- ・対外的にPRしていくには横でつながったPRの方が分かりやすい。遠方から来て何日も宿泊する方は、行政単位では無く、エリアで見ている。我々も体験ツアーを開催しているが、あえて地域をまわるような、三原、尾道、竹原、世羅町を回るような体験ツアーを実施するように心がけている。同じように一緒にPRしていただければ、かなり違ってくると思う。

2 市長まとめ

- ・空・道・港様に繋いでいただき、ここにいるメンバーだけでなく、色々なところと一緒にあって、すてきな観光コンテンツを作り上げていただきたい。
- ・三原市はふるさと納税に力を入れており、体験型の返礼品にも登録いただけるとありがたい。
- ・発信していく上でもみんなで一緒に発信する方が、発信力は高まる。
そういったことを連携しながら、進めていく必要がある。
- ・各施設で利用できるバーベキューをテーマとしたイベントを同時多発的に開催するのは、おもしろい試みだと思う。
- ・観光を広域で実施していくのは、当然のことと思っている。行政だけでは当然ダメで、官民一体で取り組んでいく必要がある。
- ・空港周辺がどんどん変わって、空港が目的地になっているというところが、徐々に出てきたと感じており、より一層、連携をとりながら、しっかりと盛り上げていきたい。